

## ニセヨゴレイタチシダを福岡県に記録する

金光浩伸

いであ株式会社 (〒812-0055 福岡市東区東浜1-5-12)

Hironobu KANEMITSU (hironobu.kanemitsu@gmail.com): A new record of *Dryopteris hadanoi* (Dryopteridaceae) from Fukuoka Prefecture, Japan.

ニセヨゴレイタチシダ (*Dryopteris hadanoi* Sa.Kurata) はオシダ科オシダ属のシダ植物であり、褐色の鱗片が葉柄から中軸にかけて圧着するようにつくことが特徴である (海老原 2017)。

本種は、九州本土東部 (大分県, 宮崎県) から四国本土南西部 (愛媛県, 高知県) にかけて集中的に記録されているが、点々と山口県や長崎県, 熊本県, 鹿児島県においてもいくつかの分布記録がある (海老原 2017)。環境省レッドリストでは準絶滅危惧種に選定されている (環境省 2017)。各県のレッドリストでは、本種が多産する大分県や宮崎県では準絶滅危惧種に選定 (大分県 2011, 宮崎県 2016) されているが、その他の県では絶滅危惧 I 類 (愛媛県 2014, 鹿児島県 2016, 長崎県 2017), 絶滅危惧 II 類 (高知県 2015, 山口県 2019) に選定されている。

九州本土において、本種の自生地は大分県の南東部に北端があり、福岡県および佐賀県には記録が無かった (福岡県高等学校生物研究部会 1975, 筒井 1988, 海老原 2017)。福岡県糸島市における今回の確認記録は、生物地理学的に重要な情報であると考えられるため、新知見としてここに報告する。

2019年9月14日、福岡県糸島市の沿海地の樹林帯において、ニセヨゴレイタチシダ19個体の生育を確認した。更に2019年10月5日に分布状況を再調査し、最初の確認地からやや離れた竹林内において、ニセヨゴレイタチシダ16個体の生育を確認した。

最初に本種の生育を確認した場所は、沿海地に広がる常緑広葉樹林内で、標高約100mに位置する斜面の6×8m程の範囲に生育していた。植生は、樹高8m程度のシロダモ (*Neolitsea sericea*) が優占し、ヒメユズリハ (*Daphniphyllum teijsmannii*) やクロキ (*Symplocos kuroki*) が混生する亜高木林で、林床にはベニシダ (*Dryopteris erythrosora*) やベニオオイタチシダ (*Dryopteris erythrovaria*) が散生していた。

次に本種の生育を確認した場所は、同地域の竹林内で、標高約60mに位置する平坦地の3×6m程の範囲に生育していた。竹林はモウソウチク (*Phyllostachys edulis*) のみで構成され、林内は明るく、林床にはコハシゴシダ (*Thelypteris angustifrons*)、ヤブムラサキ (*Callicarpa mollis*)、クロキ等が散生していた。

日本に分布するオシダ属のうち、ニセヨゴレイタチシダに近縁な種としては、ヨゴレイタチシダ (*Dryopteris sordidipes*) がより南方にかけて分布している。ニセヨゴレイタチシダは、ヨゴレイタチシダに比べ、中軸から葉柄にかけて圧着してつく鱗片が褐色～赤褐色であること、包膜が早落性であることにより明確に識別される。

確認された個体の形態情報を Figure 1に示す。中軸から葉柄にかけて圧着してつく鱗片は赤褐色であり、包膜は確認されなかったため、本種をニセヨゴレイタチシダと同定した。

本新産地では近接した2地点に合計35個体とやや多くの個体が確認されたが、福岡県では本地域以外では確認していない。本新産地は玄海国定公園の特別地域範囲内に位置するため、改変等による消失の心配は少ないと予想されるが、福岡県のレッドデータブックにおいては絶滅危惧種として取り扱うことが望ましいであろう。

証拠標本は、国立科学博物館 TNS および北九州市立自然史・歴史博物館 KMNH へ収めた。

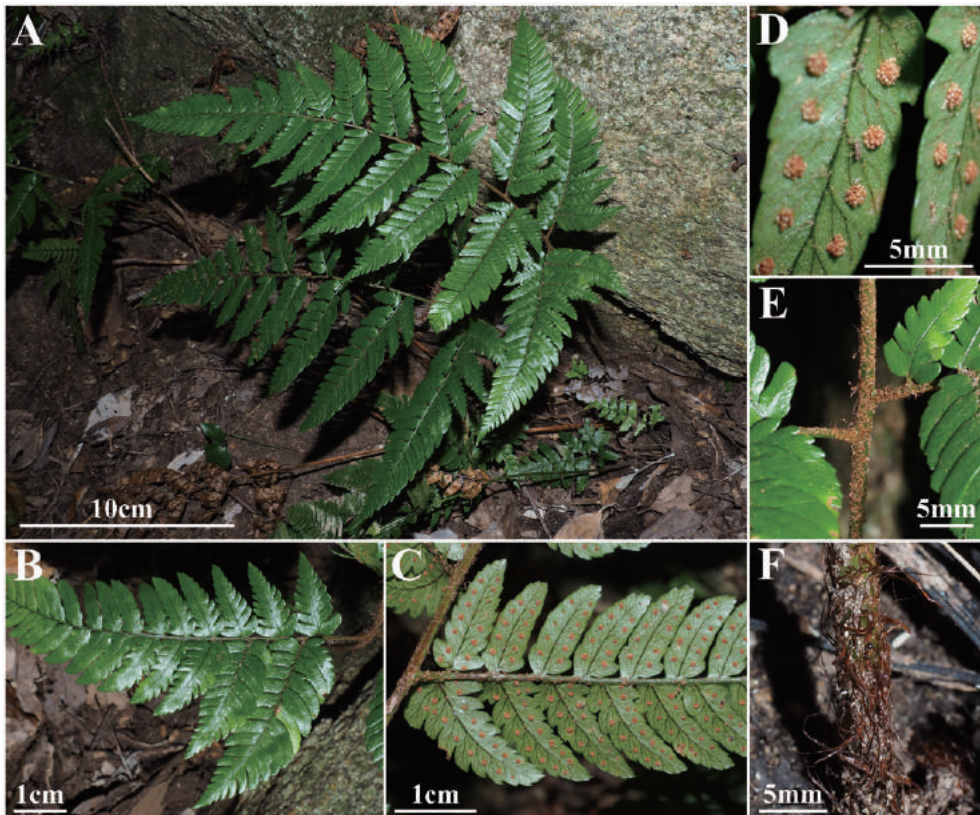


Figure 1. *Dryopteris hadanoi* Sa.Kurata in Fukuoka Prefecture. A: Plant, B: Basal pinna (adaxial view), C: Middle pinna (abaxial view), D: Sori, E: Scales of rachis, F: Scales at the base of stipe (All photos were taken by Hironobu Kanemistu on September 14, 2019).

玄海国定公園国有林への入林および標本の採取への許可をいただいた福岡森林管理署、本種の分布情報をご提供いただいた海老原淳氏（国立科学博物館）に感謝を申し上げる。

#### 証拠標本

JAPAN, Fukuoka Pref., Itoshima City, 14 Sep. 2019, Hironobu Kanemitsu *HK3433*, *HK3434* (TNS VS-1315145, KMNH-2019Y01AR01).

#### 引用文献

- 海老原淳. 2017. 日本産シダ植物標準図鑑Ⅱ. 学研プラス.
- 愛媛県. 2014. 愛媛県レッドデータブック2014－愛媛県の絶滅のおそれのある野生生物. [https://www.pref.ehime.jp/reddatabook2014/group/group09\\_01.html](https://www.pref.ehime.jp/reddatabook2014/group/group09_01.html) (2019年10月1日参照)
- 福岡県高等学校生物研究部会. 1975. 福岡県生物誌第2編－福岡県植物誌. 博洋社.
- 鹿児島県. 2016. 改訂・鹿児島県の絶滅のおそれのある野生動植物（植物編）－鹿児島県レッドデータブック2016－. 一般財団法人鹿児島県環境技術協会.
- 環境省. 2019. 環境省レッドリスト2019. <https://www.env.go.jp/press/106383.html> (2019年10月1日参照)
- 高知県. 2015. 高知県レッドリスト（植物編）－2010年改訂版. <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030701/redlist-syokubutu.html> (2019年10月1日参照)
- 宮崎県. 2016. 宮崎県レッドリスト（2015年度改訂）. <http://www.pref.miyazaki.lg.jp/shizen/kurashi/shizen/page00193.html> (2019年10月1日参照)
- 長崎県. 2017. 長崎県レッドリスト平成28年度（平成22年改訂版中間見直し）, 維管束植物. <https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kurashi-kankyo/shizenkankyo-doshokubutsu/rareSpecies/reddata/298016.html> (2019年10月1日参照)
- 大分県. 2011. レッドデータブックおおいた2011－大分県の絶滅のおそれのある野生生物. <http://www.pref.oita.jp/10550/reddata2011/index.html> (2019年10月1日参照)
- 筒井貞雄. 1988. 福岡県植物目録1シダ植物. 福岡植物研究会.
- 山口県. 2019. レッドデータブックやまぐち2019－山口県の絶滅のおそれのある野生生物. <https://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/rdb/site/index.php> (2019年10月1日参照)

（受付日2019年11月30日，受理日2020年6月16日）